



10月18日(水)城西大学では、大規模災害時における避難の心構えを修得し、学生・教職員の日ごろの防災意識の向上を図ること、さらに今回の避難訓練により問題点を明らかにし、今後の訓練の資を得ることを目的に一斉避難訓練を実施しました。参加学生は4057名。埼玉県内で広域大規模地震災害「関東平野北西部縁断層帯地震『M8.1』」坂戸市では6弱又は6強を観測する地震発生を想定し、学生は地震発生の放送直後、机の下などに身を隠し落ち着いた時点で各教室等から総合グラウンドへ避難をしました。避難誘導にあたったのは教員、職員、機能別消防団員(女子ソフトボール部が中心)です。当日は、救助器具を使用した避難訓練、防災ヘリコプター及びはしご車による大規模な救助活動も実施されました。予測のつかない災害への意識を高めるために学生の皆さんにとっても有意義な避難訓練であったと思います。終了後は、機能別消防団により非常食配布の訓練としてパンの配布も行いました。